

2026年2月16日

当院で補助人工心臓留置を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2009年1月～2031年3月の間に当院で補助人工心臓留置を受けた方

【研究課題名】補助人工心臓留置患者に合併する脳卒中の病態と画像診断方法の探求

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管内科 古賀 政利

【研究の目的】

補助人工心臓（VAD）を留置した患者様に合併する、脳卒中の病型や予後を探索します。VAD患者様における抗血栓療法の実態と、脳卒中発症との関連を明らかにします。また、脳梗塞の画像システムを構築し、適切かつ迅速な診断と治療につなげることを目的とします。

【利用する診療情報】

年齢、性別、入院日、既往歴（心疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症、脳卒中既往）、発症前内服薬、血液検査（血算、肝機能検査、腎機能検査、凝固能検査）

脳卒中発症時の症状、発症前後バイタルサイン、血液検査（血算、肝機能検査、腎機能検査、凝固能検査）、12誘導心電図、経食道/経胸壁心エコー、CT画像、治療内容

【研究期間】研究許可日より2032年3月31日まで（予定）

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

本研究は将来、研究計画書を変更する可能性があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳血管内科
担当医師 吉江 智秀

電話 06-6170-1070(代表)